



2021年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）



2020年7月30日

上場会社名 株式会社 関西スーパーマーケット 上場取引所 東
 コード番号 9919 URL http://www.kansaisuper.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 福谷 耕治
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役経営企画室長 (氏名) 中西 淳 TEL 072-772-0341
 四半期報告書提出予定日 2020年8月11日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第1四半期の連結業績（2020年4月1日～2020年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第1四半期	32,270	4.8	1,278	220.9	1,364	180.7	917	165.9
2020年3月期第1四半期	30,790	1.1	398	37.9	486	24.5	344	48.8

(注) 包括利益 2021年3月期第1四半期 1,111百万円 (264.8%) 2020年3月期第1四半期 304百万円 (30.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第1四半期	30.13	—
2020年3月期第1四半期	10.97	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第1四半期	54,592	34,212	62.7
2020年3月期	54,882	33,344	60.8

(参考) 自己資本 2021年3月期第1四半期 34,212百万円 2020年3月期 33,344百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	8.00	—	8.00	16.00
2021年3月期	—	—	—	—	—
2021年3月期（予想）	—	8.00	—	8.00	16.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2021年3月期の連結業績予想（2020年4月1日～2021年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	64,430	2.7	1,800	87.2	1,970	72.0	1,310	67.0	43.03
通期	127,800	1.3	2,410	6.9	2,670	3.4	1,710	1.6	56.17

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

連結業績予想の修正につきましては、本日（2020年7月30日）公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社 （社名） 、除外 一社 （社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期1Q	31,940,954株	2020年3月期	31,940,954株
② 期末自己株式数	2021年3月期1Q	1,497,742株	2020年3月期	1,497,742株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年3月期1Q	30,443,212株	2020年3月期1Q	31,444,012株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、（添付資料）3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の世界的な拡大の影響によって急速に悪化し、極めて厳しい状況にあります。また、経済活動の制約と「新しい生活様式」の中で、景気の先行き不透明感が深まっております。

小売業界におきましては、政府から発令された緊急事態宣言や外出自粛要請を背景に、衣料及び耐久消費財などの需要激減や内食需要が高まりを見せるなど消費に大きな変化が生じました。今後も、新型コロナウイルス感染症による世界的経済活動の停滞から、企業収益の悪化や個人消費の落ち込みは避けられず、再び同感染症拡大が警戒される中、本年後半から景気後退の影響を受けることが予想されます。

当社グループでは、全社を挙げての新型コロナウイルス感染拡大防止策として、お客様が安心してお買物ができるようにアルコール自動手指消毒器の増設、ソーシャルディスタンス確保のためのフロアサイン表示、チラシ及び10%引セール休止による3密回避などの対策を実施するとともに、全店で衛生管理を強化するために閉店時間の繰り上げを行いました。従業員が安心して仕事ができる職場環境づくりとして、マスク着用の義務付け、レジガードの設置、チェッカー係の手袋着用、諸会議におけるWeb等の活用などを進めてまいりました。また、コロナ禍における従業員の奮闘に応えるため、私用マスクの無償配布や感謝特別支給金及び特別賞与を支給いたしました。さらに、2度目となる感謝特別支給金の支給を8月に予定しております。

このような状況の中、当社グループは最終年度を迎える3ヵ年中期経営計画において、「健康経営」「生産性向上」「教育」を3つの柱に掲げ、「営業方針」「人材力方針」「経営管理方針」「成長戦略」「コンプライアンス強化」「全社課題解決施策」を基本方針とし、お客様と従業員の「負」の解消を図るため、お客様、従業員、地域とともに環境問題への取り組みや社会貢献を通じて問題解決を行う「トータルソリューション型スーパーマーケット」の実現に取り組んでおります。

当第1四半期連結累計期間の取り組みとして「健康経営」では、4月の健康増進法改正に伴う受動喫煙防止の徹底、5月には「大腸がん」の早期発見を目的とした便潜血検査を希望する従業員に対して実施いたしました。また、長く元気に働いていただくため、パート従業員の再雇用制度を最長75歳まで延長いたしました。

「生産性向上」では、「フィールドワークによる作業効率向上」「ハードの導入による作業合理化」「システム投入による作業種類数の削減」そして「神戸赤松台センター稼働による店舗作業削減」に取り組んでおります。ハードの導入では、AI機能付「フライヤーリフター」の導入店舗を拡大いたしました。また、神戸赤松台センターによる惣菜の新規商品開発及び恒例販促の全店展開により、お客様へ魅力ある商品提供とともに店舗作業の削減に寄与しております。

「教育」では、新入社員の知識修得と不安解消並びに職場への定着化を目的とした「新入社員教育プログラム」を実施いたしました。今後、お客様への情報提供をはじめ接客力向上を図るため、「ベジタブル&フルーツアドバイザー」の資格取得者を全店に配置していく予定です。

店舗の改装として、4月にセルバ店(神戸市東灘区)をリニューアルオープンいたしました。また、6月よりお客様のさらなる利便性向上とSNSを活用した新規顧客獲得を目指して、全店で「LINEクーポン」を使用できるようにいたしました。

環境・社会貢献活動では、4月に新型コロナウイルス感染拡大防止支援として、兵庫県伊丹市に医療用防護マスクを寄附し、5月には酪農家支援とフードロス防止の観点から販路を失った学校給食用牛乳の販売など、地域社会に貢献する取り組みを積極的に行っております。また、レジ袋有料化については、既に実施の大阪府北摂地区8店舗に続き、4月1日より15店舗でレジ袋有料化を実施いたしました。地域との連携では、日常のお買い物にご不便されているご高齢者、お身体の不自由な方などに商品をお届けする移動スーパー「とくし丸」を蒲生店で運行開始し、運行車両は合計13台となりました。

以上の結果、当社グループの第1四半期連結累計期間の業績におきましては、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う緊急事態宣言や外出自粛要請など状況が刻々と変化する中、当社は地域を支えるライフラインの役割を担うべく、営業時間の変更やチラシ特売中止など、感染拡大防止策に努めながら営業を継続し、内食需要、備蓄需要の増加など買物行動の変化へ対応することで営業収益は322億70百万円(前年同期比4.8%増)となりました。お客様、従業員への感染拡大防止策として講じた備品の購入や、地域の生活を支えるため懸命に業務に精励した従業員に感謝し、アルバイトを含む全従業員への「感謝特別支給金」などによる人件費の増加があった一方で、折込チラシの自粛等により経費全体は減少したことから営業利益は12億78百万円(前年同期比220.9%増)、経常利益は13億64百万円(前年同期比180.7%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は9億17百万円(前年同期比165.9%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当連結会計年度末における流動資産は136億61百万円となり、前連結会計年度末に比べ3億13百万円減少いたしました。これは主に、クレジットカード決済の減少等により売掛金が3億2百万円減少したことによるものであります。固定資産は409億31百万円となり、前連結会計年度末に比べ23百万円増加いたしました。これは主に、保有株式の評価差額の増加等により投資その他の資産のその他に含まれる投資有価証券が2億80百万円、店舗の取得や改装等により建物及び構築物が1億56百万円増加した一方、税効果会計における一時差異の解消等により投資その他の資産のその他に含まれる繰延税金資産が3億46百万円減少したことによるものであります。

この結果、総資産は545億92百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億90百万円減少いたしました。

(負債)

当連結会計年度末における流動負債は142億99百万円となり、前連結会計年度末に比べ9億78百万円減少いたしました。これは主に、賞与の計上等により流動負債のその他に含まれる未払費用が10億87百万円増加、賞与引当金が5億43百万円減少したことに加え、内食需要等の落ち着きによる仕入高の減少により買掛金が8億63百万円減少したことによるものであります。固定負債は60億80百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億79百万円減少いたしました。これは主に、債務の返済等により長期借入金が90百万円、固定負債のその他に含まれるリース債務が97百万円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は203億79百万円となり、前連結会計年度末に比べ11億57百万円減少いたしました。

(純資産)

当連結会計年度末における純資産合計は342億12百万円となり、前連結会計年度末に比べ8億67百万円増加いたしました。これは主に利益剰余金が6億73百万円、その他有価証券評価差額金が1億94百万円増加したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は62.7%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年4月30日に公表しました第2四半期累計期間の業績予想を修正しております。詳細については、本日(2020年7月30日)発表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

なお、通期の業績予想につきましては、本年度後半に向けて、新型コロナウイルス感染症が経済活動に与える影響を合理的に見通すことは依然困難であり、今後の景気・個人消費動向を注視し、業績予想の見直しが必要になった場合には、速やかに開示することといたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,939,118	8,226,065
売掛金	1,861,073	1,558,682
商品	2,549,376	2,502,461
貯蔵品	59,870	72,014
その他	1,565,562	1,302,044
流動資産合計	13,975,000	13,661,268
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	9,181,584	9,337,704
土地	20,885,024	20,885,024
その他(純額)	2,287,312	2,361,316
有形固定資産合計	32,353,921	32,584,045
無形固定資産	431,082	406,546
投資その他の資産		
差入保証金	4,546,617	4,433,856
退職給付に係る資産	861,737	867,945
その他	2,714,174	2,638,627
投資その他の資産合計	8,122,529	7,940,429
固定資産合計	40,907,533	40,931,021
資産合計	54,882,533	54,592,289

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	8,013,288	7,149,565
1年内返済予定の長期借入金	1,332,000	1,172,000
未払法人税等	655,030	254,281
賞与引当金	951,549	407,693
その他	4,325,644	5,315,661
流動負債合計	15,277,512	14,299,201
固定負債		
長期借入金	2,358,000	2,268,000
退職給付に係る負債	852,269	869,087
資産除去債務	491,592	492,547
その他	2,558,480	2,451,117
固定負債合計	6,260,341	6,080,752
負債合計	21,537,854	20,379,953
純資産の部		
株主資本		
資本金	9,862,933	9,862,933
資本剰余金	10,906,837	10,906,837
利益剰余金	14,034,076	14,707,385
自己株式	△1,329,217	△1,329,217
株主資本合計	33,474,630	34,147,939
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	47,011	241,221
退職給付に係る調整累計額	△176,961	△176,825
その他の包括利益累計額合計	△129,950	64,396
純資産合計	33,344,679	34,212,335
負債純資産合計	54,882,533	54,592,289

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
売上高	30,297,838	31,773,281
売上原価	23,087,919	23,723,162
売上総利益	7,209,919	8,050,118
営業収入	492,944	497,588
営業総利益	7,702,864	8,547,706
販売費及び一般管理費	7,304,380	7,269,138
営業利益	398,483	1,278,567
営業外収益		
受取利息	1,445	1,592
受取配当金	13,421	11,037
持分法による投資利益	—	3,493
受取手数料	45,881	48,676
リサイクル材売却益	26,481	11,047
その他	18,160	24,053
営業外収益合計	105,391	99,902
営業外費用		
支払利息	9,149	6,188
持分法による投資損失	122	—
株式管理費	5,430	5,557
その他	2,952	1,783
営業外費用合計	17,654	13,529
経常利益	486,220	1,364,940
特別利益		
投資有価証券売却益	52,297	—
受取保険金	6,541	—
特別利益合計	58,838	—
特別損失		
固定資産除売却損	6,072	7,764
投資有価証券売却損	51,671	—
災害による損失	1,554	—
特別損失合計	59,298	7,764
税金等調整前四半期純利益	485,761	1,357,175
法人税、住民税及び事業税	55,464	176,635
法人税等調整額	85,375	263,407
法人税等合計	140,839	440,042
四半期純利益	344,921	917,133
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	344,921	917,133

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
四半期純利益	344,921	917,133
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△21,253	193,574
退職給付に係る調整額	△15,365	136
持分法適用会社に対する持分相当額	△3,628	636
その他の包括利益合計	△40,246	194,347
四半期包括利益	304,674	1,111,480
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	304,674	1,111,480
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。